



私たちは、車を通じて
安心・誠実・便利・
感動・楽しみを
創造します

石巻 人×街 Interview

株式会社アイセイオート
代表取締役社長
相澤 剛

あいざわ ごう/1970年生まれ。石巻市鹿又出身。石巻高校を卒業後、明治大学に入学。現あいおいニッセイ同和損保などを経て、1996年に株式会社アイセイオートへ入社。中古車販売・買取、レンタカー・レッカーなどの事業拡大を行い、2020年にカーセブン石巻店をOPENし現在に至る。

石巻市で半世紀にわたり、地域に根差した営業をされてきた株式会社アイセイオート代表の相澤社長の"山あり谷ありの人生"をお聞きました。

始まりは石巻市鹿又の小さなプレハブ小屋から

相澤さんは石巻市鹿又で自動車整備工場を営む両親の3人兄妹の長男として誕生。父親は宮城トヨタ出身で、20代後半にアイセイオートを創業。創業当時プレハブ小屋だった会社は、高度成長期の波に乗って順調に成長していきます。住居のすぐ隣が作業場で、周囲にはスクラップの車が積み重なり、常に油やシンナーの臭いにあふれていた。車に囲まれた生活の中でも、相澤少年は車に一切興味を持たず、車を目にするのも苦痛で、親の苦勞する姿を見ていたため家業も継ぎたくない想いで一杯でした。

父親と先輩の言葉を信じて文武両道を貫いた高校時代

中学と高校時代はスポーツに熱中。7歳から好きで始めた剣道は中学の新人大会個人戦で準優勝する活躍だったが、高校からはチームプレイがしたくて一転ラグビーを始めた。きっかけは中学時代に国立競技場で生観戦した試合。石巻高校から早稲田大学ラグビー部で活躍している尾形さんの勇姿に感銘を受ける。「自分もあの大歓声の中、TVに映って花園で活躍したい」という強い思いが芽生えた。尾形さんはその後教員となり、今でもアイセイオートの顧客としてお付き合いがあるというから、相澤さんの交友の広さには驚かされる。高校は石巻一の進学校である石巻高校へ。父親から一流大学を目指す教育を受けていた影響である。在学中、全国大会に出場した2つ上の先輩が文武両道を実践していたこともあり、熱心に勉強に取り組む。また明治大学や早稲田大学に進学した先輩からは、「部活と勉強の両方を頑張って6大学を目指せ」とのアドバイスを受け、文武両道に励みながら明治大学へ進む道を選ぶ。当時は朝から新聞配達、日中は勉強と部活で寝る間もな

かったが校内では常に30位以内に入る実力。通学では日和山まで毎日自転車(ロードタイプ)で片道20~30分走ったため、カモシカのような足になった。文武両道を体現できた原動力は「東京へ進出したい」想い。半端なことをしていると家業を継げと言われるのを嫌い頑張った。「結果、家業は継いでいるけどね」と相澤さんは笑ってみせる。父親や先輩から受けた影響は相澤さんの息子さんにも伝わっていく。息子さんは県内で有数の進学校である仙台三高を経て慶応義塾大学に現役合格。相澤さんの影響で始めたラグビーで、県選抜のレギュラーや国体選手として東北大会で活躍。相澤さんにも勝る文武両道を貫いたそうです。

「家業は絶対に継がない」と決心していた身に起きた出来事

明治大学の政治経済学部経済学科に入学した相澤さん。学生時代は、東京でしかやれないことをやろうと一念発起して始めたのが学生ツアー。企画を立て六本木のディスコを貸切り、パーティー券で儲けるなど、趣味と実益を兼ねる世界にのめりこんでいく。就職活動は保険会社を中心に、業界に骨を埋める覚悟で「あいおいニッセイ同和損保」へ入社。入社式では全国の新卒代表として挨拶。活躍を期待されていたが同社を1年半で退社。その後、読者プレゼント用やコンサートのグッズなどの企画営業の会社へ入社。順風満帆な日々のある日、突然母親から電話があり「たいして給料も高くないなら家に帰ってこない?」と一言。家業を継ぐ気は全くなかったが、一人息子が跡を継がないと社員が辞め、万一廃業になった際に自分のせいだと思われるのが嫌だった。そして26歳の夏に帰郷を決める。母親の電話がなければ違う人生を歩んでいたかもしれない。

自分にできることで人のやらないことをやろう

帰郷後アイセイオートに整備員として入社するが、経験や資格が全くなかったため当時の工場長から「使えない」と指摘をうけた。相澤さんは「整備の仕

事は自分でも向いてない」と、入社早々に退職を申し出て教員の道を目指す。そんな時期、石巻の工業港を行き交う多くのロシア船が日本の中古車を買い占めている情報を得る。この時に相澤さんは「中古車の輸出が儲かるのでは」と市場開拓のチャンスを感じる。工場にいても使いものにならない状態だったため決断は早かった。まず中古車のオークションから車を仕入れてロシア人に売る体制を整えようと考えたが、当時は顧客もノウハウもなく、同業者が営む共同中古車展示場に入り込み雑用を手伝いながらノウハウを学ぶことに。そしてそこに訪れる、あるロシア人に目をつけた。彼は世界中を航海している船長で、英語が堪能だった。相澤さんは大学時代に習得した英語力を活かし、どういった車か欲しいかヒアリングを行い、1ヶ月1回訪れるタイミングに合わせて希望の車をズラリと用意した。船長からの評価も高く、あつという間に口コミが広まり、評判を聞いた別のロシア人バイヤーからも次々とオーダーが入るようになった。さらに顧客のニーズをキャッチして要望に応えるべく、レンタカーのレンタアップ車に目をつけ1ヶ月で50台の納車を実現。一気に2億円の売上に。さらにその後の2年間、一人で約900台の輸出に成功。この経験でオークションディーリングを極め、中古車相場感を養った。またここで得た収益で事業は軌道に乗り、後のカーセブン石巻店OPENの資金となる。

順風満帆だった生活に待ち構える困難の数々

この後、社長就任一年目の交通事故、社員の大量離脱、三年目には東日本大震災での資金難、父親との確執など、相澤さんに壮絶な挫折と苦難が待ち受けます。気になる続きはARIFT10/29号でご紹介。

DATA/
株式会社アイセイオート ☎0225-75-2326
本社/石巻市鹿又字町浦100-1
業務内容/自動車整備、新車販売、中古車販売、中古車買取、部品販売、レンタカー、レッカー、損害保険代理 「アイセイオート」で検索
カーセブン石巻店 ☎0225-92-8377
石巻市わかば2-1-1 「カーセブン石巻店」で検索

クルマを
安心に、売りたい



クルマ買取 安心宣言 ~カーセブンだけのお約束~

- その1 ご契約後に値引き交渉は一切致しません
- その2 車両引き渡し後も7日間までキャンセルできます
- その3 ご契約金の一部を当日中に前払います
- その4 お電話一本でキャンセルできます
- その5 ご契約後でもキャンセル料は一切かかりません

イメージキャラクター 小倉優子



石巻市わかば2-1-1 定休日/月曜・第2日曜

無料出張査定も行います。
お気軽にご相談ください♪

フリーダイヤル
0120-577-770





私たちは、車を通じて
安心・誠実・便利・
感動・楽しみを
創造します

石巻 人×街 Interview

株式会社アイセイオート
代表取締役社長
相澤 剛

あいざわ 剛 / 1970年生まれ。石巻市鹿又出身。石巻高校を卒業後、明治大学に入学。現あいおいニッセイ同和損保などを経て、1996年に株式会社アイセイオートへ入社。中古車販売・買取、レンタカー・レッカーなどの事業拡大を行い、2020年にカーセブン石巻店をOPENし現在に至る。

石巻市で半世紀にわたり、地域に根差した営業をされてきた株式会社アイセイオート代表の相澤社長に激動の半生をお聞きしたインタビュー企画の第2弾です。

社長就任一年目に起きた事故

社長に就任したその矢先、相澤さんはバイクとの接触事故を起こしてしまいます。事故直後は過失割合の主張が通らず、現行犯逮捕され留置所に2日間拘留。新聞の見出しに「会社役員 相澤 剛 逮捕」と大きく掲載されます。その影響で店舗への来客数が激減。社員の士気も下がり、次々と社員が会社を辞めていったそうです。「裁判で主張を認めてもらい風評被害をなくす」と考えた相澤さんは、事故の目撃者を探し始めます。そして石巻青年会議所の先輩の協力で目撃者を確保。その結果、刑事裁判で無罪を勝ち取り、その後の民事裁判を経て足掛け4年で示談交渉を終えます。

津波と共に押し寄せた苦難に立ち向かう決心

審理中の相澤さんに大きな苦難が続きます。2011年「東日本大震災」です。幸いにも地震と津波による店舗建物への被害はなかったそうです。相澤さんは「今の自分に何ができるのか」を考え、すぐ行動に移します。最初に始めたのが冠水車のレッカー作業。アイセイオート所有の積載車2台をフル稼働させて、被災者の冠水車100台以上を自分の敷地内に移動し道路などを整理。車がいっぱいになると自ら土地を借りて冠水車の撤去を続けますが、土地代の支払いが大きな出費となっていきます。収入を得るために中古車の供給に切り替えますが、すぐ問題に直面。関東のオークションで購入した車の石巻への陸送手段がなかったのです。そこで関東時代の人脉を頼りに陸送会社を斡旋してもらい、なんとか石巻への陸送を実現。さら

に関東の知人に支援物資の援助を求めるメールを一斉送信。情報が拡散していき、次から次へと相澤さんの元に支援物資が届き始め、地元の集荷所はアイセイオート宛ての荷物で溢れかえったそうです。

運用資金のショート、父親からの衝撃の言葉

順調だった中古車の販売ですが、運用資金がすぐにショート。早速、銀行からの融資を取り付けますが、融資条件としてアイセイオート会長の連帯保証が必要になります。すぐに会長である父親に事情を説明し銀行へ赴くことに。銀行に到着し必要書類をもらいサインをお願いした時、父親が「サインはしない」と一言。「こんな状況の中で多額の借金をしたら返済ができなくなる」と、不安に思ったそうです。当然、父親と意見が対立。融資話はまともならず暗礁に乗り上げます。

明治大学先輩との信頼と絆

銀行融資が暗礁に乗り上げたその頃、明治大学の先輩であり石巻で被災したO社長が車の手配を依頼するため相澤さんのもとを訪れます。その時O社長が「何か困ったことがあれば力になるよ」の一言に、相澤さんは「地元のために使えるお金が欲しいです」と、素直な思いを伝えます。数日後、リュックサックに数千万円の資金を詰めたO社長が訪ねてきます。当時はATMの引き出し金額も5万円以下の制限があったため、現金の多さに驚きも倍増したそうです。O社長は相澤さんの人柄と会社の将来性を信じて資金を援助。そしてこの運用資金をもとに普段の5倍以上の販売に成功。次々と石巻に納車させていったそうです。相澤さんは震災当時を振り返る時、いつも「仲間」の存在を実感します。支援物資の手配、陸送の斡旋、多額の資金援助など、明治大学を卒業して20年近く経過していましたが、変わらない絆の深さに今でも感謝し

続けています。仲間との信頼を構築できたのには訳があります。相澤さんは石巻に帰郷してからも明治大学校友会石巻支部に足繁く通っては、率先して周りのお世話や段取りをしました。このような行動が、仲間の信頼と協力につながったのではないかと考えているそうです。

先見の明を活かして新事業の立ち上げ

震災後に始めたレッカー事業は現在月150台を超える実績で、会社の柱となるロードサービス事業に成長。地元地域の事故やトラブルを日々解決しています。さらに車買取のビジネスがこれからも伸びると確信していた相澤さんは、カーセブンの事業モデルに大きな可能性を感じて、2020年9月にカーセブン石巻店をOPEN。店舗スタッフの頑張りと、カーセブン全国約170店舗の中でOPEN初年度の6月に買取部門で全国1位、販売部門では2021年2月～6月の4ヶ月連続2位の実績をあげました。

未来に向けたメッセージ

相澤さんが大事にしていること、それは「場面場面でいかに必要とされるか、役に立つことができるか」と「人との縁」です。一方父親としては、「人がやらないことにチャレンジをして、誰からも憧れる存在であること」だそうです。今後は海外への直接輸出、外国人への技術・ノウハウ提供、諸外国とのパイプを作り、新たな中古車流通ビジネスを模索したいと、力強く語った相澤さんでした。

DATA/
株式会社アイセイオート ☎0225-75-2326
本社 / 石巻市鹿又字町浦100-1
業務内容 / 自動車整備、新車販売、中古車販売、中古車買取、部品販売、レンタカー、レッカー、損害保険代理 「アイセイオート」で検索
カーセブン石巻店 ☎0225-92-8377
石巻市わかば2-1-1 「カーセブン石巻店」で検索

クルマを
安心に、売りたい

カーセブン
石巻店



クルマ買取 安心宣言 ～カーセブンだけのお約束～

- その1 ご契約後に値引き交渉は一切致しません
- その2 車両引き渡し後も7日間までキャンセルできます
- その3 ご契約金の一部を当日中に前払いします
- その4 お電話一本でキャンセルできます
- その5 ご契約後でもキャンセル料は一切かかりません

イメージキャラクター 小倉優子

クルマ売り買いおトク!!
カーセブン 石巻店

石巻市わかば2-1-1 定休日/月曜・第2日曜

無料出張査定も行います。
お気軽にご相談ください♪

フリーダイヤル
0120-577-770

